

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月16日

計画の名称	公共下水道の普及重点計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富士宮市												
計画の目標	世界遺産に登録された『富士山』の麓のまちとして、市内公共下水道を整備することにより、生活環境の改善と公共水域の水質保全を促進し、住みよく快適なまちづくりをめざす。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,124	A	1,124	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	公共下水道管渠(汚水)増設工事を行うことにより、下水道処理人口普及率を54%以上にして、住みよく快適なまちづくりをめざす。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) ÷ 総人口(人) 総人口 = 133,989人(平成29年4月1日現在)	52%	53%	54%
2	星山浄化センター増設事業を実施することにより、機能増強・高度化が図られる。 整備率 = 増設計画(2年間)に対して増設工事完了箇所 汚泥処理設備	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(汚水)	新設	富士宮処理区管渠整備(未普及解消)	計画予定整備面積 = 27ha	富士宮市						1,080	-	
	A07-002	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	終末処理場	新設	星山浄化センター増築	汚泥処理設備増設工事	富士宮市						44	-	
												小計					1,124		
												合計					1,124		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士宮市社会資本総合整備計画等事業評価委員会による評価を実施	令和5年1月31日
	公表の方法
	富士宮市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水管渠の整備を進めた結果、整備済面積が1,471 haから1,507 haに増加し、下水道処理人口普及率が52%から54%に向上した。</li> <li>・星山浄化センターの増設工事を行うことで汚泥性状を安定させ、リスク分散しながら汚泥脱水への支障を解消することができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後も引き続き、計画的、効率的に管渠整備を推進するとともに、下水道施設の安全を確保し、生活環境の改善と公共水域の水質保全の促進による快適なまちづくりを実現していく。</p> <p>定量的指標の算出における考え方について 算出式における分母は平成29年4月1日現在の総人口を用いている。計画当初は総人口及び下水道を利用できる人口が上昇すると想定していたが、実際には総人口及び下水道を利用できる人口は減少に転じている。 このため指標の算出結果が計画と差異があり、かつ現状に合っていないことから、各年度における総人口を用いた算出結果とした。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公共下水道管渠（汚水）増設工事を行うことにより、下水道処理人口普及率を54%以上にして、住みよく快適なまちづくりをめざす。	
	最終目標値	54%
	最終実績値	54%
2	星山浄化センター増設事業を実施することにより、機能増強・高度化が図られる。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%